

第39回 緑の都市賞

内閣総理大臣賞

緑の市民協働部門

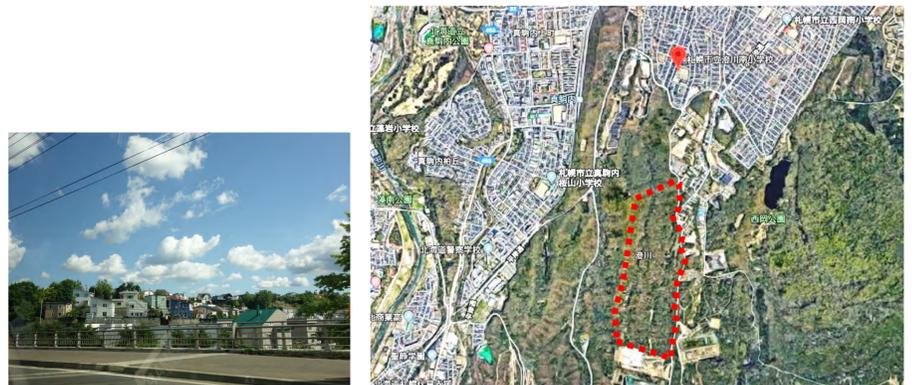
子どもたちが学ぶ北の里山づくり

北海道札幌市

特定非営利活動法人北海道森林ボランティア協会

都市環境林は、都市の無秩序なスプロール化を抑制するために札幌市が独自の制度で保全する都市近郊林で現在37カ所、約1,730haが都市環境林として保全されています。澄川都市環境林(65ha)もそのひとつで、2002年よりNPO法人北海道森林ボランティア協会がこの森を「巨木の森」にすべく保全活動を行っています。その活動は年間約130日、延べ1,700人がこれに参加しています。子ども達や親子を対象とした森の学習会も年間20回以上実施しており、身近な自然を愛しむ心の継承に取り組んでいます。森の健全性を保つほか、多様な生きものの保全にも力を注いでおり、エゾサンショウウオやヤマシャクヤクなどの数多くの希少種の保全にも貢献しています。

同協会は、澄川都市環境林の他にも、数々の森の保全に力を貸したり、他団体にもノウハウを積極的に提供するなどしており、都市近郊林の保全の推進に大きく貢献している点が高く評価されました。



■ 澄川都市環境林位置 (Google earth) (右上)と周辺の街並み (左上)



■ 澄川南小学校の子ども達の学習会の様子



■ 親子森林教室 植樹 (左) とノコギリ体験(右)



■ エゾサンショウウオ



■ 倒木除去作業



■ ハリエンジュの駆除(巻枯らし)